

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 3 回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成 23 年 4 月 27 日 (水) 13 時 30 分 ～15 時 00 分
開 催 場 所	保健相談センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口座長、奥住副座長、岩田委員、田島委員、白土委員、大野委員、西田委員、佐藤委員、高山委員、岡本委員、渡辺委員、岡田委員 欠席者：鈴木委員 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康推進課主査、健康推進課員
議 題	(1)健康増進計画の素案（第 1 章・第 2 章）について (2)武蔵村山市における健康づくりの重点課題 (3)その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1)協議結果を踏まえ報告書案を修正する。
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (◇=座長、○=委員、●=事務局)	※事務局から、会議を開催する前に資料の確認及び「資料 1、2」の説明、「資料 3 計画構成案、資料 4 武蔵村山市健康増進計画の素案（第 1 章・第 2 章）」、「資料 5 乳幼児健診アンケート調査報告書（案）」を説明する。 (1) 武蔵村山市健康増進計画の素案（第 1 章、第 2 章）について ◇ 懇談会の前に策定委員会において協議され会議録の要点を説明されたし。 ● 計画の対象とする年齢、ライフステージについて、策定委員会では高齢者を含めるべきとの意見があり、事務局は検討中である。 ◇ 健康な高齢者をどうするか。アンケート対象は 79 歳までであるが、介護予防は別の計画がある。事業上の高齢者担当は別の課であり、本計画では高齢者を範囲とするか。あるいは重点の一つとするかを考えて欲しい。 ○ 20 代～70 代をアンケート対象としているが、実際的な不足感から 20 代～30 代の方が重点となるのでは。 ○ 高齢者は福祉ベースでフォローされているのではないかと。 ○ アンケートでは若い人の意見もめだつため、若い世代を中心にすべきでは。 ◇ 懇談会においては、これから高齢者になる方（若い世代）を重点として計画を策定する方向にしたいということ。懇談会の意見を庁内策定委員会へ報告されたい。 ● 了解した。母子保健は他でフォローする計画がなく、本計画で考えて行きたい。 ◇ 母子についてはいかがか。 ○ 包含すべきだとおもう。 ○ 母子対象にインタビューなどを交え検討するのはいかがか。 ◇ では、20 代～30 代の母親及びその子ども達といったライフステージで検討していく。 ◇ 「資料 4 武蔵村山市健康増進計画の素案（第 1 章・第 2 章）」についてはいかがか。人口などの統計資料は“市の概要”とし、“健康の状態”の項からは外すことを願います。また、ヘルスプロモーション、メタボリックシンドローム、健康日本 21 などは、ページ内あるいは巻末用語解説として説明して欲しい。

● 了解した。

◇ 「計画の位置づけ」の文章中に、今後方向性が決まり次第、計画対象やなにを重点とするかを記述して欲しい。例えば壮年期を重点としつつ母子を含むといった表現。

(2) 武蔵村山市における健康づくりの重点課題について

※事務局から、「資料 5 武蔵村山市における健康づくりの重点課題」を説明する。

◇ 事務局説明の補足として、健康日本 21 ではポピュレーションアプローチ及びハイリスクアプローチの 2 つの考え方の両方が重要としている。ポピュレーションアプローチは、健康指標等の集団グラフから考えると、分布の両端を寄せていく考え方で、ハイリスクアプローチは、病気の人、喫煙・肥満・お酒を飲む人は、課題を多く抱えており、こうしたシビアな方に何をやるのかといった考え方である。この資料は、中身はいろいろあるが、今後事業をどう進めるか議題出しである。なお、デルファイ法は、参加者同士で優先順位を付ける調査の方法の一つで、今回は、健康推進課の職員の方が日常的に感じている課題を検討した資料である。ところで「こんにちは赤ちゃん事業」とは？

● 出生 3 か月までに訪問し、要支援の方を把握する事業である。

◇ 留守だから訪問件数が少ないということか。

● 返信件数が 60～70%で少ない。子育て支援課と協力し訪問件数の増大を図っている最中である。

◇ 「成人検（健）診の受診率が低い」についてはいかがか。

○ 働き盛り世代の受診率も低め。アンケート上で様々な要望が寄せられており、その解決が必要と考える。

○ 20代～30代は勤め先でやっているのでは。

● がん検診も 60 歳代以上が多い傾向にある。子宮がんクーポン検診は 20 代からを対象としているが、20 代～30 代の受診率は極めて低い状況である。また、胃がん検診は国は 40 歳代からとしているが、市では 30 歳以上までを対象としているものの、申し込みが少ない。

○ 土日にやっていないことも影響しているのでは。

● がん 3 セット検診は土曜日にも、クーポン検診は土日に実施している。

◇ 子宮がんクーポン検診など、国に上乘せし実施しているなど、市によるサービスの充実が市民に知られていないということもある。

○ 自営業の 30 代の子世代がいるが無関心な様子がある。また、検診によっては隔年なので忘れてしまったりする。例えば商工会の若い世代は検診対象から外れ、壮年期から徐々に受診し、60 代は自ら行くといった感がある。

○ 20～30 代のがん検診があればありがたいが、子宮頸がんなどの受診率については UP させる取り組みが必要である。

◇ 資料を全般に見て、重点課題はそれなりと思うか。いかがか。

○ 企業では健診は間違いなく実施するが、20 代～30 代のがん検診は企業でも実施していないので、市で実施して欲しい。

◇ 高齢者等の重点課題はいかがか。

○ 「一人暮らし等で食事を簡単に済ませてしまう事が多い」については、食事は一人でつくっている例が多いのでは。交通の便の悪さについては、確かにそう思う。

○ 「健康に関する地域の自主グループ活動が少ない」について、地区別レクリエーションクラブをつくるという考え方があるが、指導者を見

つけるのが大変。また、小額でもお金を取り実施することになるので経済的に困っている方の参加は難しい。

- ◇ 地区で様々なことを実施する体制となれば、交通問題は解決できるか。
 - 高齢者に限ってみれば、老人会で運動場などを利用しペタンクなどを実施すると、大勢の方が来る。地区それぞれの近場でできれば良いと思う。いずれにしろ高齢者は他の世代に比べ良いのでは。
 - 健康推進課は、高齢者に関する事業がなく、課題となるイメージがあまり出てきていない状況もある。
- ◇ 日常的に接していないため不明ということもあり、重点課題とするのはどうかと考える。
 - 乳幼児アンケートで、お伊勢の森分室が遠いという意見も見られ、市民総合センターあたりが良いのでは。
 - 事業が2か所に分かれ実施されており、センターとお伊勢の森分室を間違えてしまう方もいる。
- ◇ インフォメーションのやり方を考えて欲しい。
 - 乳幼児健診について1歳児、3歳児は健診の曜日が固定されており、極めて不便。また、医者側も困っており実施曜日の分散を図るべきと考える。
- ◇ 箱物を整備するといったことは無理でも、サービス等改善できることは、その道筋を考えて行こう。
 - 福祉会館にはバスがかなり出ているが。
 - 福祉会館専用のバスが運行されている。
- ◇ ポピュレーションアプローチの得点としては、「健康に関する自主グループ活動が少ない」と「成人・母子ともに検（健）診の受診率が低い」が圧倒的に高いが、いかがか。
 - 自主グループについて、体育協会としては組織はないが、ジュニア育成面で6団体が活動している。
- ◇ 商工会では健康づくりの取り組みはあるか。
 - 商工会混合部会で1年に1回グラウンドゴルフ大会を実施している。諸部会に参加者を呼び掛け、企業としても力をいれている事業所がある。ただ、5人1組で8ホール、8ホールなので参加人数は決められてしまう。
 - 地元では自主グループといった話はあまり聞かない。地区会館で、中高年の方々の体操グループはあるようだ。
 - 地域性があるのでは。
 - 老人会では毎週火曜日にやっている。
 - グラウンドゴルフは年齢に関係ないので良いのでは。
- ◇ 40代～50代の健康づくり活動はいかがか。
 - 1年に1回スポーツ・レクリエーション大会を開催しているが、一所懸命の自治会がある一方、低調なところもあり地域性がある。
- ◇ ハイリスクアプローチの重点課題はいかがか。例えば「発達支援が必要な子が増えている」とあるが。
 - これはしょうがないことである。
- ◇ 本市の状況に合う独自の計画を志向する観点から、ここで挙げられた重点課題を解決できるような方策を考え、計画の中心に据えることが重要と考えるが、いかがか。
 - ハイリスクアプローチの重点課題はほとんどが母子関係となっているが、これで良いのかを自問している。
 - 幼い子どもについては健診に来る上、医者にもかかる。そうすると

	<p>お母さんにもアプローチができ、そのうち夫も、といった“いもづる式”が考えられる。1歳児健診や3歳児健診時に母親の悩みをちゃんと聞くことなど、まず、母子から始め、夫にアプローチしていく。例えば、乳児健診時に母の子宮がん検診や乳がん検診が伝わり、さらにその夫に30歳代のがん検診が有ることが伝わるなど、有機的につなげていくことが効果的と考える。また、若い子育て世代から、その親である高齢者世代等に情報が伝わっていくといった方法はいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 非常に効果的アプローチと考える。基本構想の施策体系等に、乳幼児→その母→夫→親世代へ、といったやり方を方針づけること。また、世代別のアプローチを位置付けていくべきと考える。 ○ よい方法と思う。 ○ アンケートを見ると、30代の方が健康への関心が高い傾向もあり、なるほど、子育て世代からのアプローチは効果的と考える。 ● 了解した。今の意見を方針として位置づけて行く。 ◇ ご意見の通り、30代を重点・ターゲティングしていく計画づくりを進める。また、重点課題にある、ハイリスク・ポピュレーションを枠組みとして位置づけることとする。重点課題についての事業状況の資料を次回に願います。 ◇ それでは、重点課題は、皆さんの共通認識となったことを確認し、議題の協議を終了する。 ● 懇談会の協議の方向及び策定委員会の意見も併せ策定を進めることとする。 <p>(2) その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ その他はあるか。 ● 次回開催日程について後日調整を取らせて頂く。 ◇ 以上で本日の議事はすべて終了した。これで、第3回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会を終了する。 <p style="text-align: right;">-以上-</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0人</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____) </p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部健康推進課 (内線： _____)</p>
--------------	--------------------------------